

施工手順、施工上の注意 よこ貼り

【マグネットがつくホワイトボードシート裏のリ付】を壁面に貼り合わせる際の 施工手順と施工上の注意です。継ぎ目なく貼れる「よこ貼り」と施工しやすい「たて貼り」に分けて記載しています。本説明書は「よこ貼り」に関する記載です。 施工上の注意点にご留意の上、施工手順通りに施工してください

準備

- 作業に取り掛かる前に準備してください。（付属品）3m 以上の場合 上部ハサミクリップ ずれ落ち防止パット
- （▶位置決め時） 雑巾・中性洗剤など壁面用掃除道具 ボールペン（鉛筆） 定規 水平器・垂直器
- （▶貼り合わせ～圧着時） ホワイトボードシート（FEW-T1）スキージー・ローラー・乾いた雑巾（布）



1 下地壁面の確認、調整をする

●プラスターボード下地、木下地の場合

1- 下地の不陸（下地の凸凹）を調整する

- ・仕上がり面に影響が出ますので、凸凹を削ったり、パテ処理をして 下地を平滑にしてください。
- ・下地から 釘の頭が出ている箇所は、下地面より沈めるように金づちで打ち込んでください。
- ・下地の継ぎ目も仕上がり面に出てしまいますのでパテ処理などで埋めてください。

●壁紙の上に貼る場合

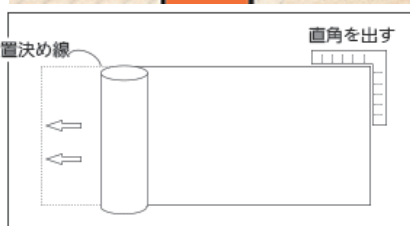
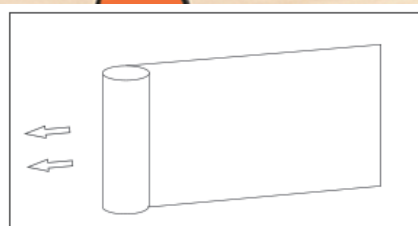
1- 壁紙の材質を確認し、表面の汚れを拭き取る

- ・ホワイトボードシート裏面の粘着剤がアクリル系のため、塩ビ壁紙、紙壁紙の上には貼れますが、オレフィン壁紙、表面撥水加工品などアクリル樹脂との相性が悪い壁紙面には貼れませんので、予め壁紙の材質をご確認ください。
 - ・壁紙表面のホコリや油汚れを拭き取って除去してください。
- ※壁紙の上に貼る場合は壁紙の凹凸やジョイント部が多少表に出てしまいます。ご了承ください。

2 壁面のホワイトボードシートを貼りつける場所に水平器、垂直器を使って4角90度の位置決め線をマーキングする

ホワイトボードシートは重量があるので、よこ貼りの長さが長くなるほど、斜め下にずれていきます。それを防ぐために、施工前に水平器、垂直器を使って正確に位置決め線を引いてください。

水平器、垂直器を使って
4角90度をきっちり出す



位置決め線を引かず貼った場合
（生地重さで斜め下にずれてしまう）



位置決め線を引いて貼った場合
（まっすぐ貼れる）

自重でずれないため

3 ホワイトボードシートの初め 25 ～ 30cm を位置決め線に合わせて貼る

裏側の離型シートは一気にめくらず、初め 25 ～ 30cm 位をめくって切り取り、切り取った部分で位置決め貼りをしてから全体を貼り合わせてください。最初から一気に裏シートをめくってしまうと、粘着剤が下地壁面の予定外の位置にくっついてしまい、シワやエアだまり（ふくれ）になってしまいます。

この作業は 2 人以上で行ってください。

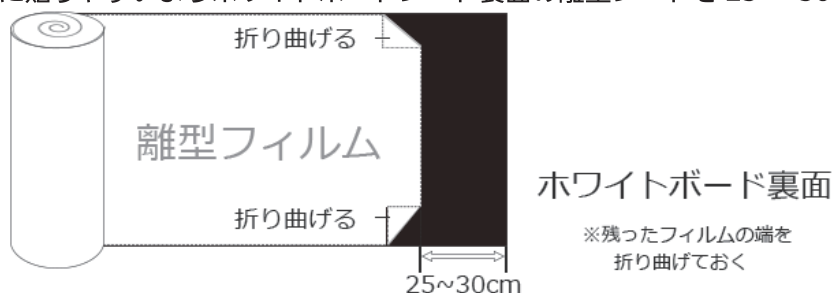
よこ貼り施工工程の中で、この作業が一番大切ですので慎重に行ってください。

【慎重に作業していただきたい理由】

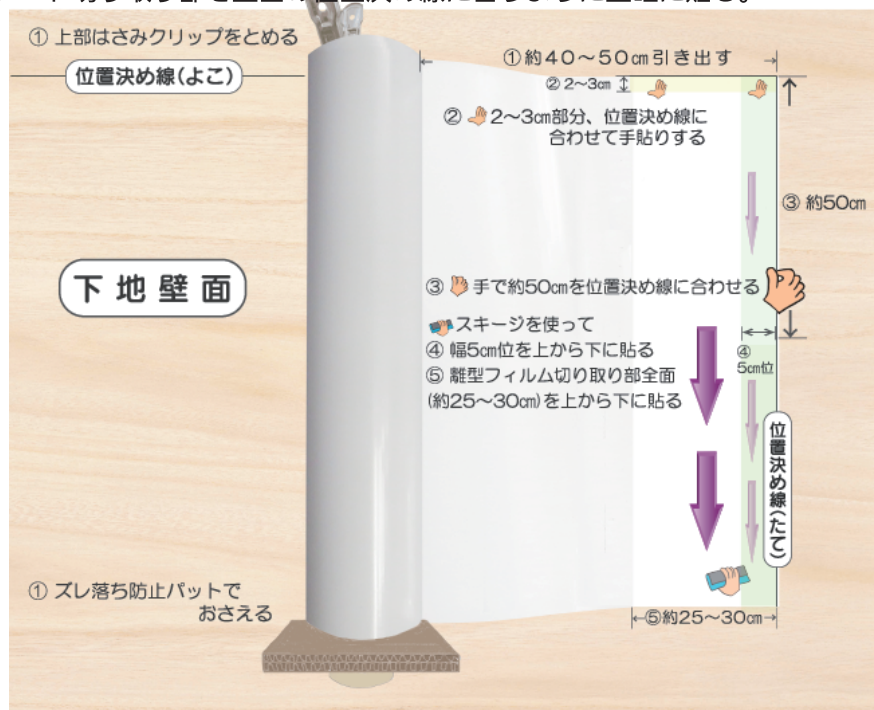
25 ～ 30cm の位置決め貼りで、直角（90 度）から一度傾いた 89 度で貼ってしまった場合、1m 先では約 17.4mm、2m 先では約 35mm 位置決め線よりずれ、傾いて貼られてしまいます。下の作業手順を参考に直角（90 度）を意識して、位置決め貼りを行ってください。

作業手順

1- 壁面に貼りやすいようホワイトボードシート裏面の離型シートを 25 ～ 30cm 位切り取る



2- 離型シート切り取り部を壁面の位置決め線に合うように正確に貼る。



①上部はさみクリップ
①ズレ落ちパッド は、よこ貼り3m以上の場合付属しています。

- 1 紙管に巻いたホワイトボードシートを 40 ～ 50cm 引き出す。
巻きがゆるまないように、上部を付属の「上部はさみクリップ」で固定する。
「ズレ落ち防止パッド」で巻きの下を支えてズレないようにする。
- 2 まず上部約 20cm を位置決め線（よこ）に正確に合わせて、たて方向に少しだけ貼る。（手貼りで 2 ～ 3cm）
- 3 次にたて方向端約 50cm を位置決め線（たて）に手で合わせてみて、線に沿っているかを確認する。
- 4 線に沿っていれば、スキージを使って上から一番下まで幅 5cm 位を貼っていく。
※この時一人がホワイトボードシートの上下を持って、生地をピンと張った状態にし、位置決め線（たて）に合わせるようにするときれいに貼れます。紙管は傾けないで下地壁面と平行になるようにしてください。
- 5 貼り終えたら、離型シート切り取り部全面をスキージを使って上から下にエアを押出しながら貼る。
※この時も、紙管は必ず下地壁面と平行になるようにしてください。紙管が傾いていると生地が斜めに貼られることになりシワが入ってしまいます。

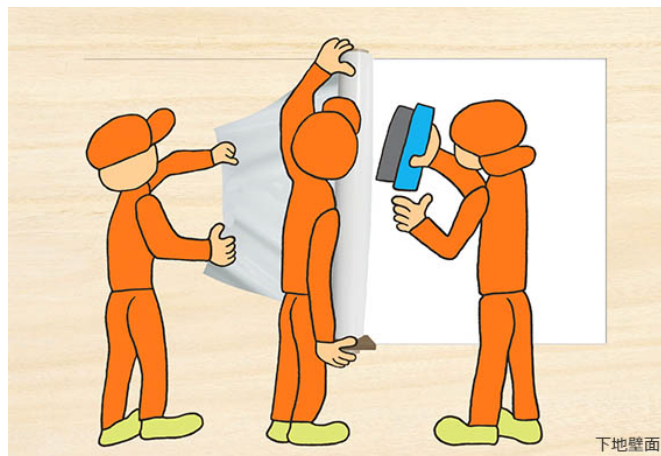
※この作業で離型シート切り取り部全面が下地の位置決め線に沿って貼り合わせられたことになります。

4 ホワイトボードシートを壁面に貼り合わせる

この作業は3人以上で行ってください。

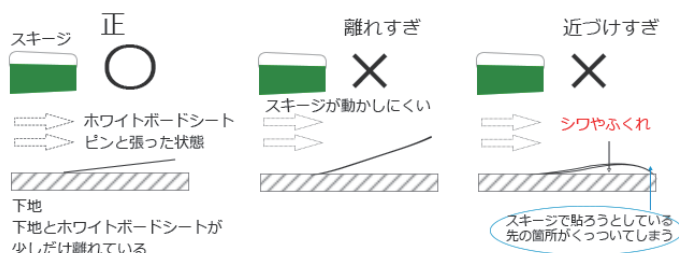
裏面粘着剤付きのため、貼り直しができませんので慎重に作業してください。

- ・「上部はさみクリップ」を取り外して、端からエアーを押し出すように貼って行ってください。「ズレ落ち防止パット」は紙管を支えるのに役立つので取り外さずにそのまま使ってください。
- ・1人はホワイトボードシート裏側の、先ほどの作業手順1で折り曲げた離型シートをつまんで貼り合わせる方向にゆくりと剥がして行ってください。
- ・残りの2人は紙管を持つ人と貼り合わせる人に分かれ、紙管を持つ人は離型シートを剥がす人と呼吸を合わせながら移動し、貼り合わせる人はスキージでエアーを抜きながら位置決め線に沿って貼り合わせて下さい。

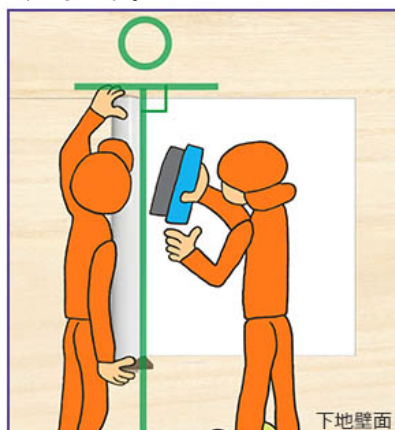


※紙管を持つ人は、下地壁面から少し離れた位置で、シートをピンと張るようにしながら、貼る方向に移動してください。

シートを壁面から離しすぎるとスキージが動かしにくくなり、近づけすぎるとスキージで貼ろうとしている箇所より先の箇所が壁面にくっついてしまいシワやふくれになってしまいます。(右図)



- ・貼り始めてからは、紙管を持つ人は、シートの上側を横方向の位置決め線と同じくらいの高さに持って行ってください。貼り合わせる人がシワなく貼りやすく作業ができます。逆に高すぎたり低すぎたりする位置に持っていくと、貼りにくく、シワが入りやすくなります。



※離型シートを剥がす人は、紙管を持つ人の動きに合わせて剥がして行ってください。

- ・貼り終えた後はスキージ、ローラー、乾いた雑巾などを使って全面を圧着してください。貼り終えた直後は粘着剤が柔らかいので、エアーを押し出すことができます。時間が経つと粘着剤が硬化してしまいエアーを押し出せず、エアーふくれとして残ってしまいますので貼り終えた後の圧着、エアー抜きは十分に行ってください。
- ・生地に柔軟性がないため、出隅・入隅の施工はできませんのでご理解ください。
- ・小口周りの仕上げは、同系色のジョイントコークで仕上げてください。

※貼り合わせ時、巻き戻し時にホワイトボードシートに折れジワやへこみキズがつくと元に戻りませんので慎重に取り扱ってください。

※ホワイトボードシートは端部の硬質フィルム切り口で手を切る危険がありますので十分に注意してください。

※万が一材質に起因する不具合が生じた場合、またはご購入時の製品の不具合に関しては、材料のお取替えのみとさせていただきます。人件費施工費などのクレームに関しては負いかねますので、あらかじめご了承ください。